

こころざし



発行・編集
深谷市教育委員会学校教育課
〒366-0823 埼玉県深谷市仲町11-1
TEL:048-572-9578 FAX:048-580-3260
E-mail gakkou@city.fukaya.saitama.jp

夢を語り、希望を語る

深谷市教育委員会
教育長 小柳 光春

今、社会が大きく変動しています。いまだに新型コロナウイルス感染症が収束しない中でのロシアによるウクライナ侵攻など、世の中全体が不安定になり、ときに子供たちの心に不安が生じます。このようなときこそ、私たち大人が、子供たちのために、思い通りの笑顔で、夢や希望を語ってやるのが大切なのではないのでしょうか。

「私の夢は、パラリンピックの選手になることです。」「そして、できれば金メダルをとりたいです。」
パラリンピック金メダリストで深谷市出身パラアスリートの村岡桃佳選手が、卒業文集(川本北小)に綴った夢です。
「夢」や「こころざし」をもつことのすばらしさ、目標を立てて努力を続けることの尊さ、そして、夢を実現させたときにわいてくる喜びなど、不安定な社会状況下の今だからこそ、村岡選手の偉業を、親子で語り合っていたいただければと願っています。

「教えるとは、ともに希望を語ること。」～深谷市教育委員会は、誰一人取り残さないという気概をもって、激動する社会を生き抜く子供たちが、その子の花を咲かせることができるよう、学校と一体となり、全力で支援してまいります。

北京パラリンピック金メダリスト・深谷市出身パラアスリート 村岡桃佳選手 深谷市に凱旋 ～ 小中学生へ向けて「夢」を語る～



MOMOKA MURAOKA
村岡桃佳選手

北京パラリンピック 金メダリスト

北京パラリンピック冬季大会で日本選手団の主将を務め、自らの競技では金メダル3つ、銀メダル1つを獲得した深谷市出身の村岡桃佳選手が4月17日(日)、深谷市に凱旋しました。

この日は市役所通りで凱旋パレードが盛大に行われましたが、その日、村岡選手から市内小中学生へのビデオメッセージをいただきました。メッセージは5月～6月にかけて、「深谷の子6つの誓い」の取組の中で、各学校の子供たちに届けられています。

子供たちは何を思い、何を感じたのでしょうか。ご家庭でも話し合ってみてください。

これまでの挑戦の日々をふりかえって…。自らの思いを語った13分間のビデオメッセージ

自らの可能性への挑戦

子供の頃の自分は…

「夢」や「こころざし」をもつことのすばらしさ

夢の実現に向けて目標を立て、努力を続けること

困難・苦勞・葛藤…

喜び・達成感

夢を実現させること、そして、そのときにわいてくる思い

自らの成長、感謝、そして…。

将来の夢
村岡 桃佳
私の将来の夢は、パラリンピックの選手になることです。
私は、四才の時に病気で足が動かなくなり、車椅子を使用して生活するようになりました。
そして、川本北小中学校に入學して二年生の夏休みにパラエテイククラブという車椅子の子達が参加できるスポーツ合宿のようなものがあり、参加しました。その後、日曜日などにはスポーツ合宿でできた友達と一緒に、東京のスポーツセンターで陸上やバスケットボールなどをしていくうちに、私はスポーツが大好きになりました。
それから、私はスポーツ合宿には毎年行くようになり、今ではスキーなどのスポーツにもチャレンジしています。
私は、陸上が好きで、パラリンピックも陸上で走りたいなと思っています。練習はとてつもないし、疲れたら涙がでてしまうこともありますが、仲間と一緒に練習して、みんなが頑張っているんだと思うと、負けてられないな！とがんばります。
私はこんな風にスポーツが大好きになることは、思いませんでした。そのとき、かけつけてくれたお父さんとお母さんにとっても感謝しています。
私は、これからもたくさん練習して、陸上でパラリンピックにでたいです。そして、できれば金メダルをとりたいたいです。

小学生のときの卒業文集…

学力アップを目指して！「中学校学力向上支援員」を新たに配置



令和3年度学力調査の結果から、深谷市内の児童・生徒の傾向として、小中学校をとおして上位層の子供を多くするとともに、課題を持っている低位層の子供に手厚い対応をすることが必要であることがわかります。特に中学校の数学では、算数から数学へと変わり、学習内容も難しくなっていく中で、生徒の「できた」「わかった」という笑顔を増やし、自ら主体的に学ぶ児童・生徒を育成することが求められています。そこで、生徒一人一人の力を伸ばすために、「中学校学力向上支援員」を配置しました。1・2年の数学を中心にT.T（チームティーチング）を行い、課題のある児童・生徒の学習を支援します。机間指導をしながらの見届けや問題解決のサポート、助言を行うなど、一人一人の学習に寄り添い、最後までしっかりと学習を支援していきます。



※ 赤い折れ線グラフが県の学力レベル、青い棒グラフが深谷市の児童生徒の学力レベルを表しています。
 ※ 学力レベル:レベルが上がるほど難しい問題を解く力があります。

不登校の児童生徒が増加 新たな対応が始まりました！

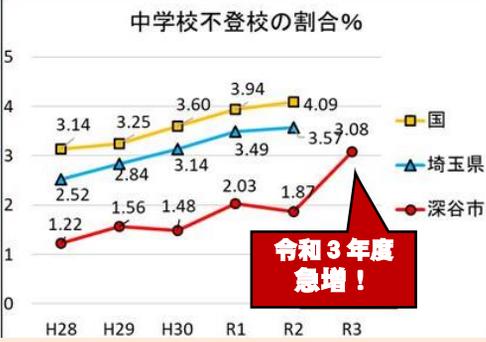
アプローチ教室拡充

子供たちと様々なチャンネルでつながり、見届けていきます！

不登校の児童生徒が増加しています。その背景として、コロナ禍での生活環境の変化により、生活リズムが乱れやすい状況や、学校生活において様々な制限がある中で、交友関係を築くことなど、登校する意欲が湧きにくい状況が考えられます。

深谷市では不登校児童生徒への多様で適切な教育機会を提供し、社会とのつながりを図るために、教育研究所内に適応指導教室である昼間の「いきいき教室」、夜間の「いきいきナイトスクール」を開設するとともに、学校内に新たに「アプローチ教室」を整備し、ステップを踏みながら教室復帰へとつなぎ、自立支援に努めております。

令和4年度は学校総合支援員を増員し、小学校10校に「アプローチ教室」を拡充設置しました。



アプローチ教室の風景

iPadは文房具！「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」で新しい学びへ！！

子供たちはiPadを文房具として毎日使っています。「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」3年目を迎え、令和4年度はさらに「新しい学びの創造」を進めます。令和4年度の重点目標は、「個別最適な学びの日常化」と「協働的な学びの充実」です。一人一人が最大限の力を発揮できる学びが日々展開されること、地域や社会とつながり、仲間と協力しながら課題を追究し、よりよい考えを生み出すことなどに取り組んでまいります。そのための環境整備を、令和3年度末から令和4年度当初にかけて行いました。

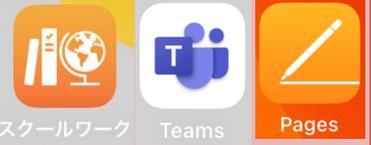
大型提示装置の整備

小学校には60インチ液晶モニター、中学校にはプロジェクタを全教室で一新！



Apple IDを全員に付与

表示がIDナンバーから個人名になり、課題のやり取りや共同編集、オンラインでのコミュニケーションが充実・円滑に！



データはiCloudに自動保存され、個人のストレージで管理しやすく、故障時でもデータ復元可能に！

大人がパソコンやスマホを使って生活し、仕事をしていることが普通であるように、子供たちがiPadを文房具として使うことは当たり前のこととなってきています。ぜひ、ご家庭で新しい学びについて話に花を咲かせてください。